

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	臨床看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	14 時間(単位)
対象学年	1学年		学期及び曜時間	後期	教室名	1年生の教室
担当教員	田村美紀	実務経験と その関連資格	看護師 病院等で薬9年勤務			
《授業科目における学習内容》						
看護の対象者の健康レベル、症状、治療、問題について理解し、臨床に適応できるように知識や技術を統合する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験と授業態度で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
任和子・大西弘高 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論 MCメディカ出版 (デジタル版)						
《授業外における学習方法》						
予習・復習を含む自主的な学習時間の確保が必要となります。指定されたテキストや参考図書などを活用して予習・復習を心がけましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
単に受講するだけでなく、毎時間の講義について自主的に学習をする態度が必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間のライフサイクルにおける「健康の意味」について理解できる 多様化する看護活動の場と保健医療における看護の役割について理解できる	教科書 P.12-		
		各コマにおける授業予定	臨床看護総論とは 看護師の役割 看護師の臨床判断プロセス			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	多様化する看護活動の場と保健医療における看護の役割について説明できる	教科書 P.109-		
		各コマにおける授業予定	看護活動の視点① 看護活動の場および機会 患者の経過段階と看護			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気を自覚していない健康な段階から急性期・回復期・慢性期・終末期へと、各段階に必要な看護活動を理解できる	教科書 P.103-		
		各コマにおける授業予定	看護活動の視点② 患者の経過段階と看護			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気を自覚していない健康な段階から急性期・回復期・慢性期・終末期へと、各段階に必要な看護活動を理解できる	教科書 P.119-		
		各コマにおける授業予定	看護活動の視点③ 患者が有する機能障害と症状			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者が有する機能障害、疾患に伴う症状・徴候などを理解し、それぞれの治療の種類と方法について理解できる	教科書 P.131-		
		各コマにおける授業予定	看護活動の視点④ 患者が有する機能障害と症状			

